

道路整備事業

北勢国道事務所は、前身の名阪国道工事事務所が開所した50年前の1963年(昭和38年)から、“千日道路”で知られる名阪国道をはじめ、国道1号、国道23号の道路改築事業など、三重県北勢・伊賀地域の主要な幹線道路の整備を担当してきました。現在では、北勢・伊賀地域の道路整備事業として、国道1号、25号名阪国道(三重県区間)、258号、475号の4路線、約106kmを担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅、国道258号大桑道路の現道拡幅事業及び高規格道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道(三重・岐阜県境～四日市市)の整備・推進を行っています。

また、国道25号名阪国道(三重県区間)の交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び、橋の耐震補強等を推進するとともに日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

担当道路事業(整備済み又は暫定整備済みを含む)



国道1号 桑名東部拡幅



桑名市北浜町上空から伊勢大橋を望む

国道1号 北勢バイパス



四日市市ハイテク工業団地上空から北勢バイパスを望む

国道1号 関バイパス



東名阪自動車道(亀山料金所)上空から関バイパスを望む

国道25号 名阪国道



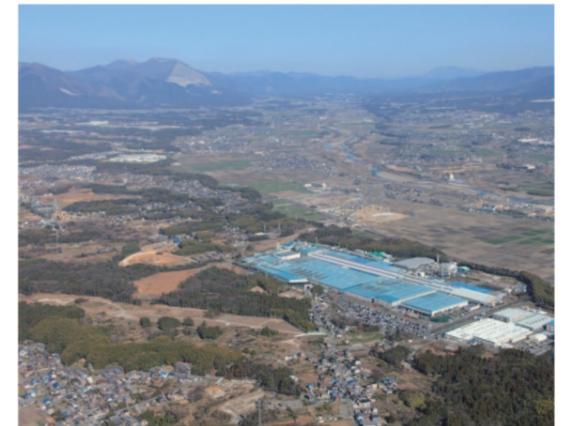
名阪国道下柘植ICから名古屋方面を望む

国道258号 大桑道路



大桑道路(桑名市)上空から岐阜県大垣方面を望む

国道475号 東海環状自動車道



四日市JCTから養老方面を望む